

Mimicking Adie's pupils in the early phase of meningeal neurosyphilis

-A case report-

Running Head: Mimicking Adie's pupil in neurosyphilis

Misa Seki, M.D., Takahiro Takeda, M.D, Ph.D., Eiichi Itoh, M.D.

Mutsumi Iijima, M.D., Ph.D., Kazuo Kitagawa, M.D, Ph.D.

Adie 瞳孔を呈した早期髄膜型の神経梅毒症例を経験したので報告する。症例は 44 歳男性、数ヶ月で進行する羞明、複視を訴え当科に入院した。瞳孔は右 5mm、左 4.5mm であり対光反射と調節反射が消失し、Adie 瞳孔の臨床像であった。その他右外転神経麻痺と左顔面の触覚鈍麻を伴った。頭部 MRI では異常を認めなかった。0.125%ピロカルピン点眼試験では典型的な Adie 瞳孔で見られる過敏性に乏しかった。本症例は血液および髄液所見から髄膜型の神経梅毒と診断し、ペニシリンの経静脈投与で改善した。従来、Adie 瞳孔のピロカルピン点眼試験では著明な縮瞳を来す過敏性が認められることから副交感神経節節後線維の障害と考えられている。本症例は過敏性に乏しく、古典的 Adie 瞳孔と比べて節前線維を含めた神経節周囲の障害が示唆された。(355 字)